

事業名称	姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト
団体名・代表者	水上夢倶楽部・清水 俊志
協働の相手方	企画政策推進室

目的	日本の伝統を学ぶ 1. 姫路の伝統文化である「古典的鹿膠」や「素材」について学ぶ 2. 日本画について学ぶ。（武蔵野美術大学日本画教授内田あぐり先生を迎える） 3. 巨大な日本画制作「大好きな姫路」と「Yosakoi Drowing」を描き創造力豊かな心を育む 4. 第7回みずかみキャンドルナイトの会場で展示する。
内容	日本の伝統文化を体験し、周知する。 1. 姫路の古典的膠について（市川での川漬け脱毛の皮を使った鹿膠） 2. 絵具について学ぶ（水干絵具・顔料の説明、膠の使い方説明、絵具の作り方、混ぜ方を学ぶ。） 3. 日本画の制作指導（姫路について、よさこいを踊る姿を大きな紙に描く（ドローイング）） 4. 地域のまつり「第7回みずかみキャンドルナイト 2019」で、日本画を展示する。
事業経過	10月19日（土） 姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト日本画ワークショップ in 姫路『Yosakoi Drowing』開催 11月2日（土） 第7回みずかみキャンドルナイトにて日本画作品展示
事業の効果	1. 日本画を子ども達に伝承できた。（内田あぐり教授） 2. 姫路の伝統文化「古典的な膠」についての周知が出来た。 子ども達に絵具と膠を混ぜることの楽しみや、踊りを感じながら巨大アートを描くなど驚きと達成感を感じると共に、喜びをわかちあう。 3. 第7回みずかみキャンドルナイトのろうそくの灯りの会場に展示することで、姫路市民に作品を見ていただくことができる。 4. たくさんの方々に感動と癒しを与える。 5. 川の清掃でゴミのポイ捨てなど環境問題について考える。
今後の展望	姫路市民の子ども達や、若者に地域愛と夢と希望を育む活動としていきたい。 多くの人に日本画を描く機会を作ることで、姫路の伝統の無添加の鹿膠を世界に向けて姫路のブランドとして発信していきたい。 キャンドルナイトの参加型の灯りのイベントとして制作物を展示することが面白いと感じた。今後も様々な事を考え、展開していきたいと思います。

【実施団体の事業総括・感想等】

<p>日本画を楽しく描くことが、様々な日本の伝統文化を同時に学ぶことに繋がった。そして、踊りを見て、心や体で感じたことを日本画の画法で表現できた。子どもも大人も筆で描く以外にも手足で描いたり、日常ではできないことから新しい感覚が生まれていきました。素敵な時間でした。</p> <p>また、参加者みんなで作った作品は、日常では絶対のない船場川の特設展示場で公開でき、たくさんの方々に日本画の作品を見ていただくことができました。キャンドルナイトは、松本先生、清元市長にも参加いただき、5,000個の灯りと日本画の競演は素敵な時間となりました。</p> <p>令和元年度姫路市提案型協働事業として、メンバーや地域のたくさんの方々の協力により、盛大に事業が進みました。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>地域の大切な資源の一つである膠を知り、日本画制作を通して、その活用についても学ぶことができる貴重な機会となったと考えている。子どもも大人も体を動かして体感したことで、深く記憶にも残るものになったと想像する。また、恒例イベントで展示を行ったことで、広くPRすることにもつながったのではないかと思います。今後も、地域資源を活用した地域の魅力発信を継続し、若い世代に継承していただきたい。</p>
--